会報
しせん
第10号

発行元：社会福祉法人　至泉会
平塚市寺田縄２６５－１
代表者：清水　行夫
編　集：清水 行夫　北原 梨彩
髙橋 由佳　武藤 恵子
川本 知彰　田島 聡子
服部 久美子　髙瀬 義和
ＷＥＢ：https://shisen.or.jp/

2024年9月 発行

理事長あいさつ

『理事長就任のご挨拶』

社会福祉法人　至泉会
理事長　清水　行夫

平素より当法人の運営につきましては、関係各位の皆様からのご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。

さて、令和六年六月十五日に開催された理事会において辻隆造理事長の後任として理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが、理事長就任にあたりご挨拶申し上げます。

さて、当法人は昭和五十四年に法人を設立して以来、これまで主に平塚市、秦野市、伊勢原市の障がい福祉サービスを担ってきましたが、当法人に限らず福祉を取り巻く環境も法人開設当初から大きく変わってきています。

一昔前までは、障がいサービスは当事者の意向といったものは重視されず、一方的に与えられるものという考え方が一般的でしたが、近年は、まず当事者の意思や意見を確認し、同意を得つつ障がいサービスを選ぶという流れになってきています。したがって、支援者側の一方的な考えで障がいサービスの内容等を決めることはできなくなりました。これは至極あたり前の話で自分自身の身に置き換えてみればそのことがわかると思います。しかしながら、こうした意思決定の確認等の重要性は理解しつつも一人ひとりの利用者に対して行うためには、時間や手間がかかるのも事実であり、職員の負担は多くなります。一昔前ならば、福祉の現場というものは残業があたり前という風潮がありましたが、現在ではそのような考えは通じなくなってきており、良い人材を採用し長く働いてもらうためには、職員の労務管理についてもきちんと管理していく必要があります。

森三郎初代理事長は、「利用者のことを第一に考えることは、福祉の基本である。しかしながら、利用者と関わるのは、職員であり、職員のことも大切にしなくてはならない」と生前よく話されていました。近年、福祉サービスは選ばれて利用されるものとなっており、今後も利用者に選ばれる法人になるために人材育成システムを構築し高いスキルを持った職員を養成し、かつ長く働けるよう職場環境を整え、利用者、職員どちらにとっても幸せになれるような法人を目指したいと思います。

私は、大学在学中からボランティアとして当法人と関わり始め、大学卒業後、国立知的障害児施設を経て、昭和六十二年から当法人（精陽学園）に入職し、今年で三十七年目を迎えました。入職した時は、当然ながら自分が理事長になるなど思いもせず、毎日のように当時精陽学園園長を兼務しておられた森理事長や諸先輩方から厳しくも優しい指導を受け今日に至りました。ただ、これまで仕事がつらいと思ったことはありましたが、やめたいと思ったことはありません。それは、自分が仕事をしてきた中でやりたいと思ったことを提案した際に園長や上司から否定されず、自分なりに考えたことをやらせてもらってきたからではないかと思います。

こうした考え方は、過去だけではなく現在も法人の基本的なスタンスとして綿々と続いており、私が理事長になっても大切にしていきたいと思っています。また、これ以外にも森初代理事長並びに辻前理事長がこれまで積み上げてきたものもしっかりと引継ぎ、更なる法人の発展および地域福祉の推進を図るため、職務にまい進して参りますので、今後とも関係各位、地域の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新採用・異動職員の紹介

『令和六年度　辞令交付式　新採用職員研修』

辞令交付式及び新採用職員研修が四月一日に執り行われました。辞令交付式後、新採用職員に加えて昨年度中途採用された職員も含めて研修を行い、理事長から祝辞並びに「当法人の職員に期待すること」という表題で話があり、その後、常務理事から「法人の理念、組織、人事考課」、「職員倫理綱領」、「障害者虐待防止」、「身体拘束の適正化」、「就業規則や給与規程等の諸規程」等について説明があり、当法人の職員としての第一歩を踏み出しました。入職者の経歴は様々ですが、どの職員も利用児・者、家族のニーズに添えるよう毎日頑張っています。いたらない点もあるかと思いますが、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

なお、令和五年度に中途採用した職員ならびに令和五年度に異動した職員も併せて掲載します。

『令和五年度　中途採用職員』

◇ソーレ平塚
生活支援員　佐藤　通奈

『令和六年度　採用職員』

◇精陽学園
調理員　岡野　新吾
調理員　藤沼　明美
保育士　椎野　舞子
栄養士　大窪　和輝

◇ソーレ平塚
生活支援員　日下　愛美
生活支援員　片野　宏星
生活支援員　小林　貴幸
事務員　髙瀬　義和

◇すこやか園
看護師　龍澤　雅代

『令和六年度　人事異動』

令和六年四月一日付

◇あけぼの園
副園長　勝山　靖史（すこやか園より）

◇精陽学園
主任　宮　卓史（ソーレ平塚より）
リーダー　古尾谷　一宏（ソーレ平塚より）

今号のテーマ

新型コロナウイルスの類型が変更されてから一年以上が過ぎ、世の中もコロナ前の生活に戻りつつあり、街中でマスクをしている人も少なくなってきました。また、生活の中で制限のあったコロナ禍から解放され、旅行に出かける人や訪日観光客も増え、観光地も賑わいを見せています。

そこで今号は、「私の好きな場所、私の想い出の場所、私の行ってみたい場所」をテーマにこれまで訪れて印象に残っていたり、これから行ってみたいと思っている場所等について利用者、家族、職員に書いてもらいましたのでご覧いただければと思います。

表彰

当法人では勤続年数の長い職員が増えてきていますが、今年度も四月二日に法人永年勤続者表彰式が行われました。今後も法人として業務の改善や職場環境を整え、一人でも多くの職員がやりがいを持ち、長く働けるよう努めていきたいと思います。

『法人永年勤続表彰者』

◇勤続二十五年

小池　俊（精陽学園）
星野　敬義（精陽学園）
宮　卓史（精陽学園）
小山内　景子（ソーレ平塚）
小原　一洋（ソーレ平塚）
佐藤　智宏（ソーレ平塚）
島田　哲（ソーレ平塚地域支援センター）
春木　誠（ソーレ平塚地域支援センター）
田島　聡子（ソーレ平塚地域支援センター）

◇勤続二十年

山田　あけみ（法人本部）
加藤　雪子（精陽学園）
福田　勝範（すこやか園）
勅使河原　久美子（すこやか園）

◇勤続十五年

城所　康男（法人本部）
佐藤　玉江（あけぼの園）
古尾谷　一宏（精陽学園）
佐藤　直人（すこやか園）

◇勤続十年

鈴木　栞（精陽学園）
佐々木　美穂（精陽学園）
水野　実佳（ソーレ平塚）
水越　明美（ソーレ平塚地域支援センター）
藤原　雄三（すこやか園）
木村　なつみ（すこやか園）

◇勤続七年

橘川　道子（精陽学園）
伊藤　静香（精陽学園）

『神奈川県介護賞』

小池　俊（精陽学園）

『神奈川県社会福祉関係者表彰』

千葉　真紀子（精陽学園）
小山内　景子（ソーレ平塚）

『神奈川県社会福祉協議会会長顕彰』

佐藤　玉江（すこやか園）
関根　麻衣子（すこやか園）
服部　久美子（すこやか園）

※所属は表彰時の所属。

『関東・甲信越地区身体障害者施設協議会永年勤続表彰』

◇勤続二十年

勝山　靖史（ソーレ平塚）

※令和四年度分の表彰を令和五年度に表彰したため、所属は当時の所属。

◇勤続十年

笹川　裕子（ソーレ平塚）
杉谷　りつ子（ソーレ平塚）
福井　麻衣子（ソーレ平塚）
岡本　千秋（ソーレ平塚）
今井　里織（ソーレ平塚）

『秦野市社会福祉施設優良職員表彰』

村上　郁未（あけぼの園）

寄付

法人へ次の皆様にご寄付をいただきました。ありがとうございました。

大石　哲　様
辻　隆造　様
中村　伸二　様

（五十音順）

※各施設へご寄付をしていただいた方については、各施設の機関誌に掲載いたします。

助成

あけぼの園及びすこやか園では「令和五年度障害児通所支援事業所安心・安全対策支援事業」の補助金を受け、通園バスに園児置き去り防止装置を設置しました。両施設とも園児の安心・安全を守るため、有効に活用しています。

あけぼの園

『私の好きな場所』

児童指導員　渡辺　好

私の好きな場所は、我が家です。以前は、家にいることよりも出かけることが多かったのですが、マイホームに移り住んだことやコロナ禍での過ごし方をきっかけに、少しずつ家族と一緒に我が家で過ごす時間を楽しめるようになりました。

今では庭の一角で家庭菜園を始め、子どもの好きなミニトマトを植えて育てています。毎日成長する様子を観察して、赤くなったものを収穫するのが日々の楽しみとなっています。

夏には水遊びや花火、秋にはBBQなど、今しかない子どもとの時間を大切に、大好きな我が家で思い出を作りたいと思っています。

『日帰りユートピア』

利用者ご家族　光本　綾

私の好きな場所は、静岡県にある日帰り温泉「湯～トピアかんなみ」です。ここは貸切り風呂にハマっている私が、最近見つけたお気に入りスポットです。こちらの貸し切り風呂のおすすめポイントは、内湯と露天の二種類を楽しめるところです。もちろん温泉なので、身体はポカポカ温まります。また、貸し切りなので動き回る子供がいても、周囲に気を使わずリラックスすることができるのです。

入館料にプラス千円を支払うと一時間利用できるため、四人家族の我が家は三千円程で温泉宿に来たような優雅な気分を味わえました。車で片道一時間半程で行けるユートピア（理想郷）最高です。ぜひ皆さんも行ってみてください。

『行ってみたい場所』

利用者ご家族　楠　真美恵

同じ名前のフォルダが私のスマホにあります。フォルダを眺めていて気がついたのは、家族と行きたい場所ばかりだということでした。

私は家にいるのが大好きで出かけるよりは家にいたいたちなのですが、ひとたび子どもに見せたい、どんなに喜ぶかと思うと、よし行ってみよう！と動けるのです。

予定どおりいかずままならないこともあるけれど、驚く顔や楽しんでいる様子を見ると、行ってよかったと嬉しくなって、今度はどこへ行こうかと行きたい場所も増えていきます。

鉄道博物館、福井県立恐竜博物館、ジブリパーク、USJなど、楽しい体験ができて家族の喜ぶ顔を見ることができるいろんな場所へ、これからもたくさん行ってみたいです。

「家族写真」
楠　真美恵

「日帰り温泉」
光本　綾

「家庭菜園」
渡辺　好

『思い出の場所』

栄養士　大窪　和輝

社会人になってからの名古屋旅行が私の思い出です。

名古屋港水族館や東山動植物園、名古屋城などの名所を巡りました。名所も楽しみの一つですが、その場所ならではの料理を食べることも楽しみです。味噌カツやひつまぶし、鍋焼きうどんなどを食べました。どれも美味しく、ここでしか食べることのできない味でした。精陽学園の子ども達にも、名物やその土地ならではの料理を提供していきたいです。

子どもたちはこれからたくさんの人と関わっていくと思います。食べたことがあるものが多いことは、人と関わっていく中で大きな武器になります。日々の食事や食育を通して、子どもたちのこれからの人生をより良いものにすることが、今の私の目標です。

『私の好きな場所』

保育士　椎野　舞子

四月から精陽学園で働かせて頂いております。

私が好きな場所は、自分の車の運転席です。毎日この車を運転して通勤しています。自宅から精陽学園まで四十五分程度かかるため、それなりに長い時間を座っていなければならないのですが、最近楽しみを一つ見つけました。それは一人カラオケです。子ども達が良く歌っている「どんないろがすき」「にじ」などの童謡、「アンパンマン」「さんぽ」などのアニメソング、嵐などのＪＰＯＰなど幅広く練習しています。人前で歌うのはあまり得意ではないのですが、車の中では一人なので声量や音程を気にすることなく歌うことは、練習だけでなく、リフレッシュにも繋がっています。レパートリーを増やしたいので、おすすめの曲などありましたら教えてください。

『私が息子と行きたい場所』

入所ご家族　村松　亜希子

頂いたテーマは『私が息子と行きたい場所』だ。が、さて、困った。行きたい所が多すぎる…。色々な場所が頭をよぎったが、この先行く機会もあると思うので、あえて「行けなかった場所」について書くことにする。

～「嵐」のライブ～

息子は嵐の大ファンだ。彼の「嵐愛」を育てた姉は弟を「真のファン」と呼ぶ。彼は毎度、ＤＶＤを再生しての即席ライブ会場で盛り上がる。歌詞はもとより、ペンライト（通称キラキラ）を振りながらのコールアンドレスポンスも完璧。ノリノリで愛用の「キラキラ」を振る姿は輝いている。これが生のライブだったらと考えると、一緒に行きたかったとつくづく思う。

彼の日常生活はたくさんのワクワクとキラキラに囲まれているのだと思う。会った時の彼の表情はとても明るい。お陰様で少しシャイだがひょうきんで心優しい子に育った。

離れて暮らす私は日々の全てを見ることはできないが、これからもできるだけ時間を共に過ごし、彼のワクワクとキラキラの瞬間に立ち会えたら幸せだ。

村松　亜希子

「愛車」
椎野　舞子

「名古屋旅行」
大窪　和輝

ソーレ平塚

『思い出の場所』

生活支援員　髙木　航平

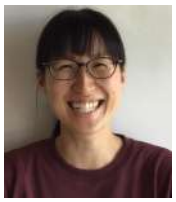
私の思い出の場所は日光です。理由としては、家族での思い出の場所だからです。二年前に新型コロナウイルスが少しずつ落ち着き、外出規制も緩和され娘が産まれて初めていった家族旅行でした。娘が産まれたのは、新型コロナウイルスが流行している時でした。そのため、娘が産まれてもどこにも連れて行ってあげられず、家族四人の思い出を作ることが出来ませんでした。

そのため、二年前に行った日光への家族旅行は私にとっての思い出の場所です。七年前には息子と奥さんとも日光に旅行に行き、そこでも初めて三人で行った思い出もあり、その時もとても楽しく色々な思い出を作ることが出来ました。

家族が増え、また違った思い出や楽しみがあり、今後も家族のために必死で働き、子供たちや普段家の事や子育てを頑張ってくれている奥さんのために色々な所へ連れて行き、家族の思い出を今後も沢山作っていきたいなと思います。

『私の好きな場所』

生活支援員　日下　愛美



好きな方も多いと思いますが、私にとっての好きな場所は、東京ディズニーリゾートです。

学生の頃からほぼ毎年行っていますが、最近は好き度合いがさらに加速しています(笑)。夢と魔法の非日常感がたまらなく、私にとってのパワースポットとなっております。

新しいアトラクションやショー、期間限定のフード等、毎回新しい発見や体験ができるので、いつ行っても楽しいです。

開園から閉園まで目一杯楽しんで帰ってくるので、家に着く頃にはくたくたですが、心地よい疲労感でいつもパワーチャージされています。

今年は新エリアがオープンしたので、早く行きたいなぁと思う今日この頃です。

『ぼくの行ってみたい所』

一階居住者　栗原　俊輔

ぼくは「ズーラシア」と「台湾」に行ってみたいです。

ズーラシアは動物が好きだし（猫だけは小さい頃から苦手なんですけど…）、行ったことがないので家族か支援員と一緒に行ってみたいです。一番見てみたい動物は大きな犬かな。

台湾はお父さんが以前、高雄（タカオ）という場所に単身赴任をしていたので、どんなところで仕事をしていたのか見てみたいです。家族と一緒に飛行機に乗って旅行をして美味しい物を食べたいです。

『思い出の場所』

居住者ご家族　H・K

懐かしい場所や出来事を振り返るのは、とても良い脳活なのだそうです。私にとって、行きたい場所であり、思い出の場所でもあるのは、カナダのニューファンドランド島です。

赤毛のアンで有名なプリンスエドワード島よりも大西洋側、おそらくカナダ最東端に位置するのではないでしょうか。かのタイタニック号の悲劇がこの沖合で起きたことでも知られています。父の仕事の関係で、私はこの島で幼少期を過ごしました。五十年前に帰国して以来、一度も再訪できていません。両親は九年前に他界したのですが、今でもさびしくなると昔の写真を眺めます。

若々しい両親と幼い私（笑）の姿、そして懐かしい景色に癒されるのです。

「台湾　高雄」
栗原　俊輔

「ニューファンドランド島」

日下　愛美
「ディズニーリゾート」

「日光東照宮」
髙木　航平

ソーレ平塚地域支援センター

『私の好きな場所』

支援員　リーダー　荻野　泰宏

私の好きなことは、自然の中で遊ぶことです。サーフィンで波に乗ることで、体幹やバランス感覚が鍛えられ、仕事で使う体を仕上げることができるメリットがあります。また、海の中で波と戯れることでリラックスやストレス解消にも繋げられます。

また、冬には雪山でスノーボードを楽しんでいます。新しい技術を習得する喜びを楽しみながら行っています。子どもも大きくなり始めてきたので、最近は一緒に海や山に行き、楽しみながら一緒に運動が出来ています。

『私の思い出の場所』

看護師　山崎　麻紀

私の思い出の場所、それは二〇一九年夏に家族で訪れた「神の島」宮島です。

その時、厳島神社の大鳥居は建立から一四〇年以上が経過し損傷や老朽化に伴う大規模な保存修理工事の最中でした。大鳥居全体が足場とシートで覆われていましたが、干潮時の昼に大鳥居の根本まで歩いてその大きさを体感できました。

また、満潮時の夜に遊覧船に乗りシート越しにライトアップされた大鳥居を船上から間近に見ることができ、それは幻想的な光景でした。

大鳥居の改修工事はその後三年半に渡り終了したそうです。七〇年に一度しか見られない歴史的瞬間に立ち会えた私の貴重な思い出の場所となりました。

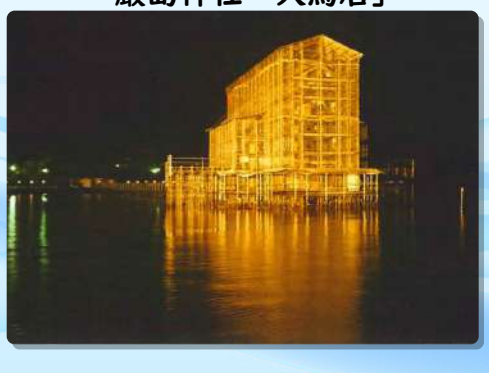
『思い出の場所』

ご利用者　宮田　菜々瀬

五月にりょこうに行きました。お母さんといっしょにおおさかに行きました。おおさかはかんさいです。しんかんせんにのって行きました。大さかのユニバーサルスタジオに行きました。ミニオンのゲームたのしかったです。ハリーポッターとマリオにのりました。またお母さんと行きたいです。

「ユニバーサルスタジオジャパン」
宮田　菜々瀬

山崎　麻紀
「厳島神社　大鳥居」



「苗場スキー場　記念撮影」
荻野　泰宏

『私の行ってみたい場所』

保育士　本間　久美子

私は花や空など自然の景色の写真が好きで、絶景シリーズの本を見ては癒されたり、その美しさに圧巻され感動しています。その景色を写真ではなく、その場所に立って自分の目で見ることができたらどんなに素晴らしいだろう。いつか訪れてみたい、〝絶景スポットを巡る旅をしたい〟という夢を抱いています。以前イタリアに旅行に行った際に見た、フィレンツェやベネチアの街並みの美しさやミラノ大聖堂（ドゥオーモ）などの建造物の素晴らしさは、今でも感動と共に心に残っています。世界遺産を巡る大きな野望もありますが、まずは大好きな日本から。写真集を持ち歩きながら日本の各地を訪れて、感動を味わう旅をしたいです。

『私の行きたい場所』

利用者　村山　葵一

「家族で福岡に帰省すること」

それが私達家族の行きたい所です。息子の体調を気遣い、年一回会いに来てくれるおじいちゃん、おばあちゃん。

恥ずかしがり屋の息子は毎回照れてしまい、なかなかお話出来ません。慣れてきた頃にはバイバイの時間になってしまいます。ゆっくりお話したり、遊んだり、神奈川とは異なる景色をおじいちゃん、おばあちゃん皆と沢山共有したいと思っています。遠い遠い福岡、どうやって帰ろう？新幹線、飛行機、フェリー、それとも頑張って車？息子はどれが喜ぶかな？どんな表情を見せてくれるかな？と想像するのも楽しい時間です。少しずつ準備して帰省したいと思っています。

待っててね！

おじいちゃん、おばあちゃん

『ダニエルとの思い出の場所』

事務員　副主任　福西　直美

我が家には、ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリアという犬種の十四歳四か月過ぎのダニエルがいます。そのダニエルとのお出掛けの場所、すべてが思い出の場所になっています。

ダニエルが、我が家に来るまでは、私自身、お花には興味はなかったのですが、ＳＮＳ等でわんことお花の可愛い写真を目にするようになり、いつしか、ダニエルとお花の写真を撮るために桜、ネモフィラ、薔薇、紫陽花、向日葵などのお花が咲く時期になると、県内は勿論、静岡、山梨、埼玉、東京、茨城など、お花を求めてお出掛けします。気づくと年間、一万枚以上の写真を撮っています。

そんな中でも、二〇一八年に見つけた、埼玉の伊奈町調整施工記念公園のバラ園は本当に素敵で、毎年訪れています。四百種五千株の薔薇が見事なまでに咲き誇り、感動すら覚えます。

これからも、ダニエルとの思い出を沢山作っていきたいと思います。

本間　久美子

村山　葵一

「愛犬　ダニエル」
福西　直美

『私の好きな場所・思い出の場所』

利用者　坂間　朱莉

小さい頃からお出かけが大好きな娘です。一番好きなのは、やっぱりディズニー!!我が家の年明けは初詣よりディズニー!!素敵な一年を過ごせますようにと祈りながら年明けスタートです。

幼少期に障害児の仲間とディズニーへ行き、てんかん発作が止まるかも～なんて子供向けジェットコースターに乗ったのも今では良い思い出です。成長と共に医療ケアも増え身体も大きくなり色々と限られてきますが時にはバケーションパッケージで贅沢にディズニーを満喫したのも最高の思い出です。キャストさんに「娘を覚えてます。」と言われた時は嬉しかったです。目立つのでしょう。

次は新エリアのFantasy springsに早く行きたいです。

『大切な人たちと過ごしたあの場所』

利用者　前田　朔万

それは山梨県の本栖湖です。今から十一年前、小学三年生の夏休みに友人家族に誘われて初めて訪れました。カヌーに乗って風に押されながらあっという間に湖の真ん中まで行くととても深いはずなのに湖底の石がくっきりと見えるほど青く透明でまるで空に浮かんでいるようでした。それ以来毎年数えきれないほど通いました。道の駅に立ち寄り美味しいおこわや焼き鳥などを買い、きれいな景色を眺めながら食べるのも楽しみの一つでした。湖面にSUPを浮かべその上に立ってスイスイと漕ぐ人に憧れ練習していたけれど筋力が衰える進行性の難病を発症し年々難しくなりました。今ではもう行くこともなくなりましたが富士山と深い緑に囲まれた本栖湖はたくさんの思い出が詰まった大好きな場所です。

『Royal Wing』

支援員　主任　福田　勝範

いったいどれだけの場所を訪れ、どれだけの優しさと景色に出会ったのだろう。

好きな場所、思い出の場所はいくつも存在する。人気スポットに有名レストラン、老舗旅館や世界遺産等々…。きっと名前を出せば誰でも知っているものばかり。ひょっとすると、とある場所で誰かとすれ違っていたかも知れない。十年前、二十年前、もっともっと前の出来事…。同じ場所を再度訪れたとしても、その時々で景色が違う。香りと温度が違う。感動が違う。一人で感じたもの…誰かと共有したもの…。多くの時間が過ぎ去り、多くの感動に出逢えた。楽しい思い出、悲しい思い出、苦しい思い出、辛い思い出。過去の思い出は修正できない。未来の思い出で塗り替えることはできるのだろうか???

「ロイヤル　ウイング」今はなき思い出のシップ＝素敵な思い出。それだけで意味のある人生。ひと時の輝きと希望をくれた君に心から「ありがとう」。

「Royal Wing」
福田　勝範

「本栖湖」
前田　朔万

「ディズニーリゾート」
坂間　朱莉

しせん相談室・しせん相談室ひらつか

『私の思い出の場所、また行きたい場所』

相談支援専門員
課長代理　矢野　健作

私は、車を運転して旅に出ることが好きです。今は時間が無く難しいですが、二十代のころは、車にテントと寝袋を積んで、全国を旅するのが好きでした。その中で、思い出の場所として、四国があげられます。関西の友だちを車で迎えに行き、フェリーで徳島へ渡り、鳴門の渦潮やかずら橋をみて、高知の桂浜で坂本龍馬像と写真を撮り、愛媛で道後温泉につかり、香川で讃岐うどんを食べ、しまなみ海道を渡って広島でお好み焼きを食べてくるなどしていました。

四国は、本州と違って山の形が丸く、雰囲気が柔らかい印象があります。高知の四万十川を眺めていると、ゆったりとした気持ちになれます。また、いつか長期休暇が取れたら、行きたいと思います。

『私の好きな場所』

相談支援専門員
主任　重野　美樹

私の癒しは自然の中で何も考えず、のんびりと過ごすことです。自然といっても色々な場所を訪れましたが、私の癒しの場所、いちばん好きな場所はやっぱり北海道です。初めて訪れた時の感動は今でも忘れていません。

それから幾度となく訪れ、四季折々に変化する景色に触れることは、私の中でいちばんの癒しとなりました。また、地元の人とのちょっとした会話や、美味しいものをたくさん食べることも楽しみの一つです。

北海道ののんびりとした時間の中で過ごすことで癒され、リフレッシュできます。北海道はこれからも、何度でも訪れたいと思える大好きな場所です。

『思い出の場所』

相談員　髙橋　菜津子

不二家レストラン秦野店は思い出の場所。当時七歳になる長男が「誕生日は不二家さんでお祝いしてもらいたい」と懇願し家族で訪れた。一歳の次男はよちよち歩き真っただ中。家族揃って席に着けたのは、わずかな時間だった。しかし、長男はお店に居合わせた方々にバースデーソングを歌ってもらい、ろうそくを吹き消して満面の笑み。慌ただしい食事会が終わり一安心したところに、斜向かいの高齢のご夫婦が声をかけてきた。「かわいいお子さんたちね」。そう言って店内に販売していたアンパンマン缶をプレゼントしてくれた。落ち着きがなく迷惑をかけてしまったと反省しつつ、ご夫婦の温かいふるまいに感激した。その日以来、近くを通ると温かい気持ちを思い出す、思い出の場所。

高橋　菜津子

「北海道」
重野　美樹

「しまなみ海道」
矢野　健作

（一）新型コロナウイルス感染症の影響

令和五年度は、五月に新型コロナウイルス感染症が五類に変更され、施設の規模や種別により多少の違いはあったものの、感染に注意しながら日々の療育、支援、生活（面会、外泊、外出）、行事等をコロナ前とほぼ同じように行うことができ、少しずつですが日常を取り戻すことができました。

しかしながら、五類に変更後も各施設において変更以前と同様に感染防止対策をしていましたが、『あけぼの園』では九月に感染者が多数出てクラス閉鎖をせざるを得なくなり、その他の施設においても数名の感染者が断続的に出ました。また、今年度は、インフルエンザが夏場から流行し、『精陽学園』と『ソーレ平塚』では九月に利用者及び職員が多数感染し、終息するまで二週間ほどかかりました。また、『ソーレ平塚』では、年明けにも職員が新型コロナウイルス及びインフルエンザに感染し、業務を遂行するのに苦慮しましたが、幸いにも利用者には数名の感染者は出たもののクラスターの発生までには至らず終息しました。その他の施設においては、年間を通して感染者は出ましたがクラスターの発生までには至りませんでした。

ワクチン接種については、『ソーレ平塚』の利用者は、六回目と七回目のワクチンを接種しました。

（二）施設運営

運営面については、各施設の財政状況が厳しい中、新型コロナウイルス感染症に加えてインフルエンザの流行もあり保健衛生費等の支出が今年度に入っても多くかかり、さらに国際情勢の不安定化による光熱水費や食材費等の値上がりにより経営的に厳しいものとなりました。ただ、こうした中、各施設ではサービス提供の方法や時間を見直し、業務を工夫することで少しでも利用者数を確保し、節約により経費の削減に努めるよう対応しました。

『ソーレ平塚』では女性フロア職員の欠員や体調不良による欠勤が重なり、業務の継続に支障をきたす状態となったため、九月から男性職員二名を女性フロアに配置転換しました。これに伴い、異性介助の機会が出てくることが想定され八月に利用者家族へ説明会を実施し了解を得ました。なお、十月から女性職員（新卒）を一名採用しました。

また、『精陽学園』では、妊娠による業務の制限や産休・育休に入る職員が重なったため、職員が足りない状況となり有給休暇も消化できなかったため、十月、二月、三月に法人内の他施設の職員を応援に派遣しました。その他の施設でもコロナウイルス感染症やインフルエンザの感染による自宅療養や健康観察期間のため出勤できない職員が断続的に発生し、職員の配置に苦慮しました。

（三）職員採用・人材育成

今年度は、新卒者を二名採用することができました。また、中途採用者及び非常勤職員については、有料広告や人材紹介を通して雇用しましたが、新採用職員の雇用に苦慮しているところです。次年度の採用に向けては、就職相談会及び施設見学を実施し、学校訪問を実施しました。

人材育成については、各施設の特性に応じた研修に加え、法人全体を横断的に考え、階層別に必要な内容と職員のつながりを強められるような内容にしていく必要があり、人材育成委員会を中心に各階層および種別ごとに研修を計画し、実施しました。

また、十一月に法人内の全職員を対象に淑徳大学副学長鈴木敏彦教授を講師に招き、「利用者の権利擁護及び虐待防止のための意思決定支援の進め方と理解」について研修（座学及びグループワーク）を実施しました。

（四）人事労務管理

労務管理については、必要に応じて社会保険労務士のアドバイスを受けながら検討しましたが、年度途中にこれまで契約していた社会保険労務士が体調不良で業務を継続できなくなったため、九月から新たな社会保険労務士事務所と契約を締結しました。

また、勤怠管理の効率化及び事務員の負担軽減のため、令和四年度下半期から試行していた勤怠ソフトを四月から正式に運用を開始しました。これに伴い、年次有給休暇や残業の管理等がしやすくなりました。変則勤務のある職場では、勤務形態が複雑なため勤務変更による処理に手間取ることもありましたが、一年間運用することでスムーズな運用ができるようになりました。

（五）防災・防犯対策

各施設の状況に応じた防災・防犯対策等の危機管理やリスク管理、ＢＣＰ（事業継続計画）を検討しました。

防災については、施設ごとに日ごろから地域との関わりを大切にして、地域の自治会や防災組織と連携をとるように努め、災害時に地域で孤立しないようにしています。また、併せて備品や備蓄の拡充にも努めています。

『ソーレ平塚』においては、六月の台風二号及び九月の台風十三号による大雨警戒警報（洪水）が発令された際、一階居住者を三階に一晩避難させました。

（六）相談支援体制の充実

今年度より『しせん相談室』、『しせん相談室ひらつか』の両事業所とも新規事業（「伊勢原市医療的ケア児等コーディネーター事業」、「平塚市医療的ケア児等コーディネーター事業」）の委託を受け、これまで以上に地域の医療的ケアを必要とする利用者の相談支援の役割を担うこととなりました。近年、医療的ケアに関する相談の件数は増加傾向にあり、本事業への期待は高くなってきており、今年度は、相談業務と並行しながら平塚市、伊勢原市の利用者（相談者）の利便性が向上するよう地域の体制づくりを関係機関と協議しながら進めました。

第一号第一様式

法人単位資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	266,644,446	279,918,467	△ 13,274,021
		障害福祉サービス等事業収入	805,848,310	809,443,155	△ 3,594,845
		経常経費寄附金収入	1,041,900	1,639,800	△ 597,900
		受取利息配当金収入	5,678	6,702	△ 1,024
		その他の収入	7,686,240	7,796,754	△ 110,514
		事業活動収入計(1)	1,081,226,574	1,098,804,878	△ 17,578,304
	支出	人件費支出	767,926,512	769,526,082	△ 1,599,570
		事業費支出	112,845,109	110,115,036	2,730,073
		事務費支出	145,118,309	143,584,560	1,533,749
		その他の支出	4,248,000	4,237,345	10,655
		事業活動支出計(2)	1,030,137,930	1,027,463,023	2,674,907
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		51,088,644	71,341,855	△ 20,253,211
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	649,000	658,000	△ 9,000
		固定資産売却収入	10,940	10,940	0
		施設整備等収入計(4)	659,940	668,940	△ 9,000
	支出	固定資産取得支出	18,273,860	18,326,660	△ 52,800
		施設整備等支出計(5)	18,273,860	18,326,660	△ 52,800
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 17,613,920	△ 17,657,720	43,800
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	6,585,040	6,585,040	0
		その他の活動による収入		66,138	△ 66,138
		その他の活動収入計(7)	6,585,040	6,651,178	△ 66,138
	支出	積立資産支出	32,576,800	47,226,550	△ 14,649,750
		その他の活動による支出	20,560	20,560	0
		その他の活動支出計(8)	32,597,360	47,247,110	△ 14,649,750
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 26,012,320	△ 40,595,932	14,583,612
予備費支出(10)				—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(1			7,462,404	13,088,203	△ 5,625,799
前期末支払資金残高(12)			305,233,661	305,233,661	0
当期末支払資金残高(11)+(12)			312,696,065	318,321,864	△ 5,625,799

第二号第一様式

法人単位事業活動計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	児童福祉事業収益	279,918,467	263,395,618	16,522,849
		障害福祉サービス等事業収益	809,443,155	806,794,587	2,648,568
		経常経費寄附金収益	1,639,800	949,108	690,692
		その他の収益	2,933,770	49,600	2,884,170
		サービス活動収益計(1)	1,093,935,192	1,071,188,913	22,746,279
	費用	人件費	771,844,120	759,971,537	11,872,583
		事業費	110,115,036	109,916,262	198,774
		事務費	143,584,560	130,386,936	13,197,624
		減価償却費	38,236,951	38,013,780	223,171
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 23,023,178	△ 23,563,034	539,856
		徴収不能額		14,099	△ 14,099
		サービス活動費用計(2)	1,040,757,489	1,014,739,580	26,017,909
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		53,177,703	56,449,333	△ 3,271,630
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	6,702	5,758	944
		その他のサービス活動外収益	4,862,984	6,096,597	△ 1,233,613
		サービス活動外収益計(4)	4,869,686	6,102,355	△ 1,232,669
	費用	その他のサービス活動外費用	4,237,345	4,262,315	△ 24,970
		サービス活動外費用計(5)	4,237,345	4,262,315	△ 24,970
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		632,341	1,840,040	△ 1,207,699
経常増減差額(7)=(3)+(6)			53,810,044	58,289,373	△ 4,479,329
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	658,000	3,519,000	△ 2,861,000
		施設整備等寄附金収益		4,934,000	△ 4,934,000
		固定資産受贈額	45,177	1,735,000	△ 1,689,823
		固定資産売却益	10,939	255,819	△ 244,880
		特別収益計(8)	714,116	10,443,819	△ 9,729,703
	費用	基本金組入額	45,177		45,177
		固定資産売却損・処分損	27,339	20	27,319
		国庫補助金等特別積立金積立額	658,000	3,519,000	△ 2,861,000
		特別費用計(9)	730,516	3,519,020	△ 2,788,504
特別増減差額(10)=(8)-(9)			△ 16,400	6,924,799	△ 6,941,199
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			53,793,644	65,214,172	△ 11,420,528
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		369,240,803	341,026,631	28,214,172
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		423,034,447	406,240,803	16,793,644
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)		38,000,000	37,000,000	1,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		385,034,447	369,240,803	15,793,644

法人単位貸借対照表

令和6年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	451,509,067	382,419,581	69,089,486
現金預金	274,872,340	206,317,969	68,554,371
事業未収金	168,562,690	158,153,016	10,409,674
未収金	1,228,989	366,128	862,861
未収補助金	3,126,300	7,209,377	△ 4,083,077
立替金	3,180,405	4,990,679	△ 1,810,274
前払金	17,655	4,796,816	△ 4,779,161
前払費用	512,056	535,756	△ 23,700
	7,792		7,792
その他の流動資産	840	49,840	△ 49,000
固定資産	1,099,088,772	1,078,557,454	20,531,318
基本財産	513,284,515	536,605,290	△ 23,320,775
土地	52,555,545	52,510,368	45,177
建物	460,728,970	484,094,922	△ 23,365,952
その他の固定資産	585,804,257	541,952,164	43,852,093
土地	3,000,000	3,000,000	0
建物	31,513,615	31,135,150	378,465
構築物	4,195,144	2,354,095	1,841,049
機械及び装置	1	1	0
車輌運搬具	18,190,404	15,249,456	2,940,948
器具及び備品	12,654,428	13,334,329	△ 679,901
権利	1,681,102	1,687,768	△ 6,666
ソフトウェア	1,483,123	2,528,697	△ 1,045,574
退職給付引当資産	101,425,100	98,955,750	2,469,350
人件費積立資産(措置)	18,000,000	14,000,000	4,000,000
施設・設備整備積立資産 (措置)	88,711,000	88,711,000	0
人件費積立資産	38,100,000	38,100,000	0
施設・設備整備積立資産A	208,110,000	179,610,000	28,500,000
施設・設備整備積立資産B	58,200,000	52,700,000	5,500,000
差入保証金	220,000	220,000	0
長期前払費用	320,340	365,918	△ 45,578
資産の部合計	1,550,597,839	1,460,977,035	89,620,804

負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動負債	191,676,145	135,998,334	55,677,811
事業未払金	23,144,554	22,686,739	457,815
未払費用	79,071,863	53,519,506	25,552,357
預り金	20,108,000	952,675	19,155,325
職員預り金	10,843,286	0	10,843,286
前受金	19,500	27,000	△ 7,500
賞与引当金	58,488,942	58,812,414	△ 323,472
固定負債	101,425,100	98,955,750	2,469,350
退職給付引当金	101,425,100	98,955,750	2,469,350
負債の部合計	293,101,245	234,954,084	58,147,161
純資産の部			
基本金	58,371,727	58,326,550	45,177
第１号基本金	21,638,727	21,593,550	45,177
第２号基本金	36,733,000	36,733,000	0
国庫補助金等特別積立金	402,969,420	425,334,598	△ 22,365,178
その他の積立金	411,121,000	373,121,000	38,000,000
人件費積立金(措置)	18,000,000	14,000,000	4,000,000
施設・設備整備積立金(措置)	88,711,000	88,711,000	0
人件費積立金	38,100,000	38,100,000	0
施設・設備整備積立金A	208,110,000	179,610,000	28,500,000
施設・設備整備積立金B	58,200,000	52,700,000	5,500,000
次期繰越活動増減差額	385,034,447	369,240,803	15,793,644
(うち当期活動増減差額)	53,793,644	65,214,172	△ 11,420,528
純資産の部合計	1,257,496,594	1,226,022,951	31,473,643
負債及び純資産の部合計	1,550,597,839	1,460,977,035	89,620,804